

高松市 MICE 振興戦略（仮称） 骨子案

第1章 高松市 MICE 振興戦略（仮称）策定の意義

1-1 MICE とは

MICE とは、企業の会議（Meeting）や報奨旅行（Incentive travel）、国際機関や団体が行う国際会議（Convention）、企業などによる展示会（Exhibition/Event）の英単語の頭文字のことで、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称です。

1-2 高松市における MICE の意義

ビジネス・イノベーションの機会の創出
地域への経済効果
国・都市の競争力向上
交流人口や観光客の増加
交流や国際化にともなう人材育成

1-3 高松市における MICE の市場動向

世界の MICE の潮流
国内 MICE の状況
MICE に関する国の政策
国内の MICE の市場動向
香川県の MICE 推進の状況
(香川県 MICE 誘致推進方策と連携した高松市 MICE 振興のあり方)

1-4 高松市の MICE の現状と課題

第6次高松市総合計画及び関連計画と MICE 振興戦略との関係
高松市の MICE の現状、強み・弱み・機会・脅威（SWOT 分析）
課題と解決の方向性

第2章 基本戦略

2-1 高松市の考える MICE とは

国際会議及び学会等

高松ならではの MICE コンテンツを活かした MICE

ウォーターフロントの MICE 施設の集積を活用、都市機能の連携

産官学市民連携

イノベーション指向

開催効果の最大化

新規 MICE の創出

高松市は、観光の延長線上にある従来型の MICE ではなく、生産性の高い MICE や、高松らしいビジネスや学術分野を活かした MICE の創出を目指す

【あるべき未来】

MICE 形態 : 国際会議を主目標とし、学会を副目標とする

MICE の分野 : 香川大学工学系（ナノテクノロジー、バイオ、環境、希少糖）、
盆栽、商店街開発、コンパクトシティ等

規模 : 国際会議場の制約から 500 人～2,000 人規模の MICE 誘致に重点

開催効果 : 開催することに止まらずに、開催効果を最大にすることを重視する

MICE 商品 : ・集積資源、都市機能、施設規模、サービス能力、ユニークベニュー
から高松市ならではの最適な MICE 商品を開発する。そのための産官
学市民、商店街や飲食店との連携を重視する
・交流機会増大のため、M、I、C、E を統合化した関連事業を積極的に実施する

人材育成 : MICE の誘致や創出、MICE による地域経営ができる人材を育成する
市民プライドの醸成 : MICE に市民が直接係われる機会を増大させることで、市民プ
ライドの醸成を図る

地場産業活性化 : MICE を地場産業の活性化や新しいビジネス創出のエンジンとして
位置付け、そのために MICE の持つイノベーション効果を最大に活
かす

ユニークベニュー商品の開発 :

- ・栗林公園（商工奨励館、庭園）
- ・史跡高松城跡 玉藻公園（披雲閣、庭園）
- ・高松琴平電鉄株式会社（琴電貸し切り車内パーティー列車の運行）
- ・サンポート大型テント広場（数千人規模野外パーティー）
- ・新規ユニークベニュー開発「屋島」「離島」等

観光庁 HP の「ユニークベニュー施設リスト」に記載はあるが、敷地内建造物
内、貸し切りスペース、空間だけが確保された状態のため、実際に購入できる
野外パーティー開催を含めたパーティー商品の開発を推進する

誘致推進体制 : 官民一体となった MICE の誘致推進組織

第3章 高松市のMICE目標

コンベンション開催件数【参考】2014年217件
(～2019年)270件/年
(～2023年)306件/年(第6次高松市総合計画 目標値)
○件/年(日本政府観光局、国内比較基準2014年、6件)

第4章 高松市のMICE振興のための施策方向性

4-1 受入環境の整備

4-1-1 MICE施設

既存MICE施設連携
MICEインフラとしてのWi-Fiの整備
施設不足による歯止め対策
戦略に基づく長期計画の検討

4-1-2 支援・サービス

主催者支援、参加者への対応充実
ワンストップサービス
(公財)高松観光コンベンション・ビューローの機能強化、連携強化

4-1-3 アフターコンベンション(観光)

4-1-4 MICE開催効果の最大化

MICE関連事業者支援(情報共有、人材育成、起業支援)
人材育成(インターン研修/ボランティア研修)

4-1-5 MICE商品開発

技術視察、高松市周辺自治体を含めた地域、非公式会合会場、エクスカージョン
MICE関連施設連携商品開発
ユニークベニユーの高度化、高付加価値化(既存ユニークベニユーの高度化)
玉藻公園/屋島/琴電/丸亀町商店街等
栗林公園ユニークベニユーの高度化(県との連携)
ユニークベニユー向け規制緩和
ユニークベニユー利用ガイドライン
ユニークベニユーデータベース・情報提供
屋島山上拠点施設の活用 MICE商品開発

4-2 誘致強化

4-2-1 誘致推進体制

主催者への誘致活動
誘致における効果的な連携

国際協力機構（JICA）や日本貿易振興機構（JETRO）など

4-2-2 マーケティング

- MICE の調査（誘致主催者情報収集）
- 誘致情報の一元管理と共有の仕組み検討
- 誘致に必要なツールの整備（ホームページ、パンフレット、映像）
- 経済波及効果算出のための調査及び計算・分析
- 開催満足度調査・潜在ニーズ調査（主催者、参加者）

4-2-3 誘致セールス活動

- インセンティブ・ツアー商品開発（観光資源の MICE 化）
（インセンティブ・ツアー・プログラム開発を含む）
 - 四国四県が連携する「スピリチュアルな島～四国遍路～」
 - 瀬戸内海沿岸の七県が連携する「せとうち・海の道」
 - 瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の各市町（小豆島、直島等）

4-2-4 海外セールス

4-3 MICE 振興のための産官学連携

4-4 MICE の創出

4-4-1 創出型 MICE

4-4-2 開催効果最大化商品開発

4-4-3 人材育成

誘致及びサービス能力の向上

4-4-4 機運醸成

4-4-5 財政支援

第5章 施策工程表（2023 年まで）

2017 年度	誘致拡大・体制強化準備段階	}	短期的な対応
2018 年度	プロモーション拡大段階		
2019 年度	MICE 産業の育成段階		
2020 年度以降	地方創生型 MICE の収穫段階 （MICE ブランドの確立段階）		中長期的な対応

以上